

事業所名		はればれ				支援プログラム		作成日		7 年		2 月		10 日			
法人（事業所）理念		安心できる環境の中で、個性を尊重し、自分らしく生きる力を育む															
支援方針		子どものありのままを見て頑張っている過程を喜び合い、常に豊かに関わることで豊かな人間性と生きる力を育みます。保護者の思いや不安に丁寧に寄り添いながら、保護者と一緒にお子さんのより良い発達を考えていきます。															
営業時間		9 時		0 分から		18 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり		なし		※ 一部の学校・園に限る	
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	保育士と安心して過ごせる環境を提供します。 基本的な生活スキル（挨拶・衣服の着脱・トイレの使い方・事業所の時間の過ごし方）がしっかり身につくように支援します。 わかりやすく視覚支援をすることで、自分で見通しを持った生活ができるよう支援しています。															
	運動・感覚	遊びを通じた活動の中で、身体のような感覚を育て、学びにつながる身体を育てます。 子どもの感覚特性や偏りを踏まえながら、遊びを通していろいろな感覚が育つような活動を行います。 感覚が過敏な子には、感覚の配慮した関わりを行うことで、安心して過ごすことができるよう支援します。															
	認知・行動	子どもの発達段階・認知特性・感覚の偏りなどから生ずる学びにくさに配慮して支援をします。 様々な活動を通して物の機能や概念などを認知する力を育てていきます。 小集団の活動の中で起こる不安な気持ちやイライラした気持ちなどを言語化して伝えることができるよう、共感的に関わります。															
	言語コミュニケーション	遊びを通じた小集団活動の中で、一緒に活動する子ども達とのやり取りを通して、自分の気持ちを伝えたり相手の気持ちを聞いたりするコミュニケーションの力を育てます。 大人との共感関係を軸に、人に伝えたい気持ちを育て、子どもの発達段階や発達特性に応じたコミュニケーションの方法が獲得できるよう支援します															
	人間関係社会性	一緒に活動する集団で安定した人間関係の中で、思い通りにならなかったりした時に感情をコントロールしたり、自分の気持ちに折り合いをつけたりできるように支援します。 小集団で行う遊びの活動の中で、順番を待つことやルールの理解など、子ども達の社会性を育てます。															
家族支援		子どもが健やかに育つためには家族がこどもの特性を理解してその特性に配慮した関わりをすることが大切です。そのために、子どもへのかかわり方や子どもの発達について学んだりグループで考えたりする機会を設けます。						移行支援		就園・就学する校園と情報交換を行い、お互いに協力しながらより良い就学につながるよう支援します。また、保護者の希望があれば、就園、就学先と情報交換をし、よりよい生活が送れるよう支援します。							
地域支援・地域連携		お子さんが所属する園や学校と連携し、それぞれの環境で安心して過ごすことができるよう、サポートします。															
職員の質の向上		安心して通ってもらうための法定研修(虐待防止・身体拘束・感染症対策など) 内部研修や外部研修の機会を設け、学びを深めより良い支援に必要なスキルを身につけ、実践していける環境を作ります。 担当する子どものケース会議を通して、子ども理解を深め、より良い支援につなげます。															